

薬草

フォーラム 2024

伊吹山麓の薬草文化の魅力を県内外の多くの方に発信するため、「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催にあわせ、岐阜県と揖斐川町が連携し、2日間にわたり薬草フォーラムを開催します。

揖斐川町主催

10.30 水 13:30 - 15:30

会場：揖斐川町地域交流センター はなもも

講演

『世界に誇れる
春日の足元の宝物“和薬”とは？』

古谷 暢基 氏（一般社団法人和ハーブ協会 代表理事）

『薬草の山を歩き、
日本の伝統と未来を思う』

安倍 昭恵 氏（安倍晋三元首相夫人、ブルー&グリーンプロジェクト実行委員会 会長）

トークセッション 安倍 昭恵 氏 × 古谷 暢基 氏 座談会

お申込みは
こちらから



※お申込み多数の場合は
抽選となります。

事前申込制
参加無料

定員
800名



安倍晋三元首相夫人
あへ あきえ
安倍 昭恵 氏



一般社団法人和ハーブ協会 代表理事
ふるや まさき
古谷 暢基 氏

お問い合わせ 揖斐川町役場（岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪133番地）TEL.0585-22-2111

岐阜県主催

10.31 木 13:30 - 16:00

会場：岐阜グランドホテル 西館2階 雪の間

報告「薬草振興の取組みについて」岐阜県農政部

講演「美味しく食べて生き生きと。美と健康の薬膳」

国際薬膳師(中国薬膳研究会認定) タレント 麻木 久仁子 氏 あさぎくにこ

プロフィール

東京都出身。2010年に脳梗塞、2012年に初期の乳がんが見つかったことから、検診の大切さや自身の体験を、講演会や情報番組などで伝えている。2016年に国際薬膳師、2019年には国際中醫師を取得し、タレント業の傍ら、食を通して「体を温め、免疫力を高める」という考えや食事などを多方面で提案している。

トークセッション「薬草文化の継承と薬草利用の促進」

お申込みは
こちらから



事前申込制
参加無料

定員
200名
(先着順)



お問い合わせ 岐阜県 農政部 農産園芸課（岐阜県岐阜市藪田南2丁目1番1号）TEL.058-272-8439

10.30 水 揖斐川町主催 薬草フォーラム

講演



『世界に誇れる春日の足元の宝物“和薬”とは？』

古谷 暢基氏 (一般社団法人和ハーブ協会 代表理事)

神奈川県鎌倉市出身、「日本近代医学の父」で新1000円札の顔である北里柴三郎の血を引く。2009年に日本の有用植物文化の研究・継承を目的とした(一社)和ハーブ協会を発足する。

『薬草の山を歩き、日本の伝統と未来を思う』

安倍 昭恵氏 (安倍晋三元首相夫人、ブルー&グリーンプロジェクト実行委員会 会長)

東京都出身。(株)電通在職時代、上司に安倍晋三を紹介され、1987年結婚。2006年、安倍首相赴任とともにファーストレディとなる。2020年、海と陸の繋がりから自然環境にコミットする『Blue&Green Art Project』を山口県立大学と共同で立ち上げる。和ハーブ協会のコンセプトに共鳴、2023年に揖斐川町『薬草カフェ まるかる』(現『はるひの案内所』)を訪問、春日の薬草文化に感銘。



トークセッション

安倍 昭恵氏 × 古谷 暢基氏 座談会

『日本人の健康と薬草』

健康と薬草について、グローバルな視点でのトークを行う。



10.31 木 岐阜県主催 薬草フォーラム

報告

「薬草振興の取組みについて」 岐阜県農政部

講演

「美味しく食べて生き生きと。美と健康の薬膳」

国際薬膳師(中国薬膳研究会認定) タレント 麻木 久仁子氏 あさぎくにこ



トークセッション

「薬草文化の継承と薬草利用の促進」

登壇者

岐阜薬科大学 教授

酒井 英二氏
さかい えいじ

福井県出身。岐阜薬科大学在学中に旧春日村に通い伊吹山の薬草文化に触れる。国立衛生試験所薬用植物栽培試験場を経て、2001年母校に戻り、現在、岐阜薬科大学教授・薬草園園長を務める一方、薬用作物産地支援協議会に協力し産地化を目指す。



国際薬膳師 タレント

麻木久仁子氏
あさぎくにこ



(一社)和ハーブ協会 代表理事

古谷 暢基氏
ふるやまさき

神奈川県鎌倉市出身、「日本近代医学の父」で新1000円札の顔である北里柴三郎の血を引く。2009年に日本の有用植物文化の研究・継承を目的とした(一社)和ハーブ協会を発足する。



新ドリンク「ぎふコーラ」開発者
合同会社 いびはる商舎 代表社員

四井 智教氏
しい ちのり



(一社)ぎふおうちごはん協会代表理事
中医薬膳師

後藤 香陽子氏
ごとう かよこ

岐阜市出身/在住。身近に感じる薬膳料理の普及のため料理教室やセミナー、薬膳師の育成に尽力。地産地消の健康おうちごはんのレシピ開発や商品開発をして情報発信。7つの和ハーブを用いた万能調味料、「和ハーブめんつゆ香」などを開発販売している。



薬草マルシェ

薬草関連商品を展示・販売するマルシェを開催



薬膳料理の試食・関連商品配布

試食 薬草を利用したメニュー

配布 ぎふコーラ(新商品ペットボトル形態) など



【伊吹山麓の薬草文化】

- ・伊吹山は、約280種の薬草が自生する「薬草の宝庫」で、織田信長がポルトガル宣教師に命じ薬草園を開設したとの記録も残るなど、古来より薬草の山として知られている。
- ・伊吹山麓に広がる揖斐川町旧春日村地域は、古来より薬草の採取・栽培が行われ、薬草をお茶や料理として食したり、入浴に利用するなど、暮らしの中で薬草を利用する文化が引き継がれてきている。